キャプテン翼II

ファミコン必勝本
Vol.14
7月20日号
特別付録

ボールは友達ブック

ゲーム基本システムと
リオカップ6試合の
データを解説



■テクモ■7月20日発売■￥6900

プロをめざして翼ふたたび！

世界ユースの頂点に



←キャプテン翼II。すべてはこの画面から始まる



→１人のサッカー好きの少年がいた。彼の名は大空翼と言う

サッカーボーイの大空翼は、南葛中のキャプテンとして、全国中学校サッカー大会に出場し、ライバル校を倒して決勝戦へと駒を進めた。そこで対戦したのが、翼の永遠のライバル日向小次郎率いる東邦学園だった。彼との雌雄を決する戦いに勝ち、翼は南葛中に優勝旗をもたらした。

そして、国際ジュニアユース大会のため全日本Jrチームが結成された。これまで敵として戦った選手が１つにまとまって世界を相手に戦うことになったのだ。

フランスで開催された国際大会は強者ばかり。しかし、翼は日向との確執を乗りこえ、チームをまとめあげ、チームワークと個人技を駆使して予選を勝ち上がり、準決勝ではフランスを、決勝では西ドイツを破って念願の世界制覇の野望をとげたのであった。

世界制覇を達成した翼は、ロベルトとともにプロを目指してブラジルへと旅だった。



↑そして、翼は世界へと羽ばたいたのだ



↑サッカーの本場ブラジルへ、翼は旅立った



↑翼の夢はただ１つ。日本にワールドカップの優勝トロフィーを持ち帰ることだった

そして新たな戦いが

翼は単身ブラジルへ！　少年ジャンプに掲載されていた原作はここで終了している。これから先はゲームでしか見ることのできないオリジナルストーリーとなるのだ。ブラジルに渡った翼は、サンパウロＦＣに参加。そこでキャプテンとなり、強豪ひしめくブラジル大会でさらにパワーアップした翼は、ふたたび世界に向って歩みだすのであった。これから先、翼伝説を作るのはプレイヤー１人１人となる。

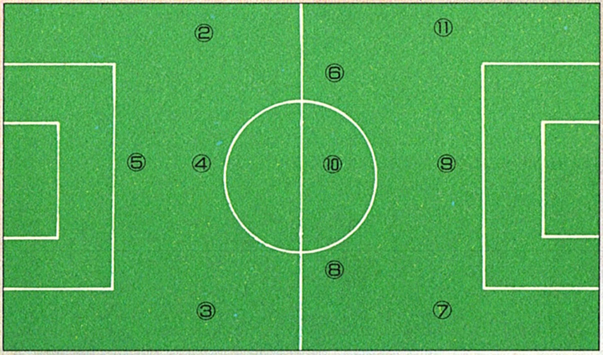


→そして今、翼はブラジルのチームのキャプテンになっていた。ここから今回のドラマが始まる

◈サンパウロFCの仲間達

プロをめざして単身ブラジルに渡った大空翼が所属したのがサンパウロＦＣだ。「プロになるまでは日本に帰らない」という固い決意を胸に、翼はロベルトの指導によりサッカー技術とセンスに磨きをかける。

チームメイトもアマラウ、ドトールのブラジルユース代表コンビにアルゼンチンユース代表のバビントンが加わってレベルは上々。ここに翼が参加するわけだから、リオカップも当然優勝を狙えるチームの１つといえるのだ。



←ここに示したのがサンパウロＦＣの普段のフォーメーションである。ゲームメーカーの翼を中心にバランスの良い配置がなされている。プレイヤーであるあなたはこのフォーメーションのまま最後までプレイしても良いのだが、ゲームをより楽しむためには色々なフォーメーションを試してみる方がいいよ、と忠告しておこう。



⑩大空翼　MF

明るい性格と逆境にも負けない不屈の精神が評価されキャプテンを努める。オーバーヘッド、ドライブシュート等の必殺技を持つ。



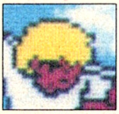
①レナート　GK

ブラジルユースの代表選考会で候補にまで残ったことのある優秀なゴールキーパーだ。リオカップでの活躍が期待される。



④アマラウ　DF

パスカット、高い浮き球に強いディフェンダーだ。ヘディングシュートにも威力があるのでコーナーキックではゴール前に配置だ。



⑤ドトール　DF

アマラウと共にブラジル代表チームのセンターバックを努めた。タックルと低い浮き球に強くアマラウと好対照ディフェンスだ。



⑧バビントン　MF

アルゼンチンユース代表としてあのファンディアスと互角に戦った強者。個人技がありパスが得意。翼と中盤を作りシュートも強い。

⑪プラトン　FW

鋭い突破力を見せるドリブルが武器だ。左サイドから切り込みセンタリングを上げる。

⑦タハマタ　FW

ドリブルを得意とし、翼、バビントンからのスルーパスを受けて右サイドを突破する。

⑥バチスタ　MW

守備で活躍するミッドフィルダー。翼やバビントンの補佐役に回るが運動量は多い。

②リマ　DF

ファイタータイプのディフェンダーでガッツあふれるディフェンスでゴールを死守する。

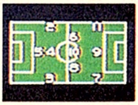
③マリーニ　DF

知的なサイドバックとして知られ、頭脳的守備でドトール、アマラウのカバーする。

⑨ジウ　FW

エースストライカーとしてセンターフォワードを努める。ボレー、ヘディングが得意。

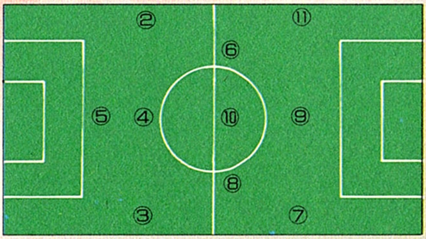
◈フォーメーション



キャプテン翼2ではフォーメーションを変更できる。下にあるのが代表的なフォーメーションだ。敵の陣形やメンバーの能力によって決定したい。また自分が考えた攻撃パターンにもっとも適したフォーメーションを選択することも重要といえる。特にレベルの高いチームとの対戦のときにはメンバーの能力と相手のフォーメーションを把握したうえで、自軍フォーメーシフォーメーションを決める必要がある。これによって戦いが有利にも不利にもなるのだから。

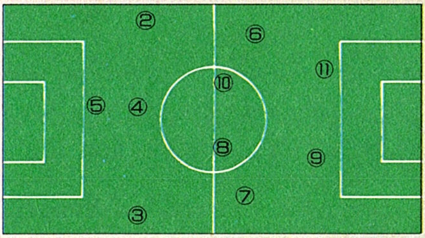
4:3:3

もっともオーソドックスなフォーメーションで、7番、11番をウイングに置いて、センタリングからシュートを狙う攻撃方法がベストだ。バックラインにスイーパーシステムを採用。現在の全日本チームのフォーメーションだ。



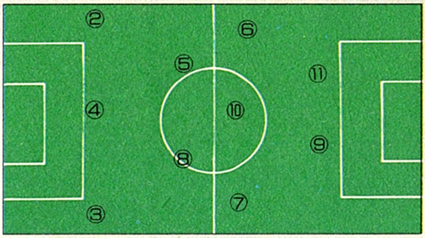
4:4:2

ツートップの9番も11番を中心にカウンターアタックを仕掛けやすいフォーメーションだ。MF 4人の中では8番がディフェンシブハーフに回り敵陣では6番、7番がウイングの位置に。バックラインはスイーパーシステム。



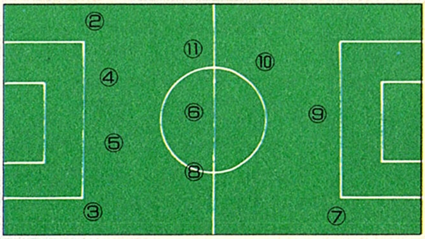
3:5:2

MF5人での中段が組み立てやすく、ツートップからのカウンターアタックを仕掛けることもできる。ただDFが3人なので敵の速攻に弱点がある。6年前の欧州選手権でデンマークが採用した近代的な攻撃型フォーメーションだ。

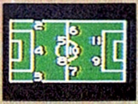


ブラジルタイプ

1970年メキシコワールドカップでペレを擁したブラジルが編み出した変型4:3:3フォーメーション。FM11番を下げ、左ウイングの位置にスペースを空ける。戦況に応じてそこに2、10、11番がとび出してくるのが特徴である。



◆ディフェンスタイプ



ディフェンスの方法も攻撃フォーメーション同様にいくつかのパターンがある。これは自軍の攻撃との兼合はもちろん、敵の攻撃パターン、デイフェンスメンバーの能力によっても変ってくる。

下に紹介するディフェンスタイプは、それぞれに長所と短所を持っているが、状況に合ったディフェンスをセレクトすれば、非常に有利に試合を進めることができるようになるので、状況分析をしっかりやって決めよう。

ノーマルタイプ

もっとも基本的な守備陣型で、プレスとカウンターの中間的なディフェンスタイプといえる。相手の能力や攻撃パターンかが読み切れないときは、ノーマルディフェンスで様子を見るのがいいだろう。

カウンタータイプ

中盤はかまわないで、ゴール前を固めるディフェンスだ。速攻に対して有効な守備で、またこちらからのカウンターアタックも仕掛けやすいのが特徴だ。しかし、中盤が弱いためシュートをたくさん受けることになる。

プレスタイプ

中盤から敵を囲みにいく人数を多くして、積極的にボールを奪いにいくタイプ。ドリブルを主体とするチームに適したディフェンスといえる。欠点は速攻をくらいやすいこと。

➡どのタイプで試合に臨むかは試合前のロベルトの話をじっくりと聞いてから考えよう



スイーパーシステムについて

フォーメーションのところで紹介したとおり、4:3:3と4:4:2の2つのフォーメーションタイプではスイーパーシステムを採用している。

センターバックの後ろにスイーパーを置き3人のバックスでカバーできないときに、あるいはバックスが抜かれた場合に対応するのがスイーパーだ。しかし、バックスの後ろにいるため、オフサイドトラップがかけにくくなるのが欠点ともいえる。しかし、このゲームではオフサイドが採用されていないので非常に有効なフォーメーションタイプといえる。

最近のサッカーでは、このスイーパーが攻撃に参加することもあり、この場合のスイーパーはリベロとよばれる。リベロにはそのチームのスター選手がなることが多く、花形ポジションの1つといってもいいだろう。

さて、そこでサンパウロＦＣのフォーメーションだが、このスイーパーポジションにキャプテン翼を置いてみたらどうだろう。そしてスイーパーに徹底させほかの選手を動かしてもいいし、リベロとして活躍させるという方法も戦法がバラエティになっておもしろいものになると思うのだが。

敵のシュートを翼が押さえ、そのまま敵陣へドリブルで持ち込み、一気にシュートを放つなんてのは想像するだけで楽しいじゃないか。

◆キックオフ前

キックオフ前のミーティングでフォーメーションやディフェンスタイプ。チーム能力の確認といったことができる。これはしっかりやっておこう。

情報

ここではロベルトによる敵チームの戦力分析などを聞くことができる。



スコアメモ

マネージャーのようこちゃんがパスワードを表示してくれる。ちゃんとメモっておこう。

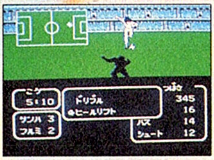


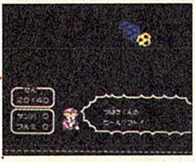
◆オフェンス(攻撃)

サッカーの攻撃はいわずと知れたパスとドリブルによって敵ゴールへ迫りシュートを打つというものだ。しかし、単調な攻撃ではすぐにボールを取られてしまう。そこで、攻撃パターンを考えなければならない。フォーメーションを決定したら、サイドを使った攻撃にするのか中央突破を狙うか、パス主体かドリブル攻撃か、敵陣型を確認して最善の攻撃パターンを考えるようにしたい。そして自分独自の必勝攻撃パターンを確立しよう。

ドリブル

敵を突破することによってドリブルが継続できる。翼はヒールリフトの必殺ドリブルを持つ。

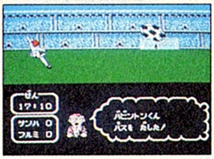






パス

味方にパスして敵陣型を崩しながら攻撃する。エリアパスを有効に使った戦法も有力だ。



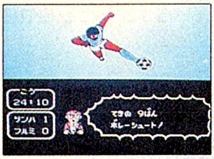
ワンツー

三角パスともいわれ、近距離の味方にパスしすぐにリターンしてもらい前の敵を突破する。



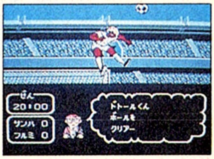
シュート

シュートの種類、方法もかなりバリエーションがある。起死回生の翼のロングシュートも見ものだ。

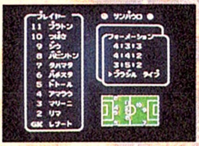
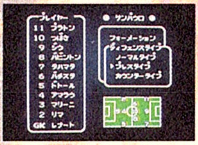


クリアー

クリアーされたボールは常に味方の所へ行くとは限らない。

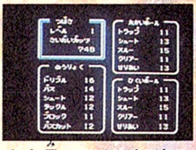


チームデータ①

フォーメーションタイプとディフェンスタイプの選択を行う。敵チームの情報を聞いてチームをどのフォーメーション、どのディフェンスにするか決めるんだ。

チームデータ②

チームメンバーのデータを見ることができる。これでポジションチェンジをすることができる。また、個人データを見ることもできるので、選手のレベルくらいは把握しておこう。

◆ディフェンス(防御)

実際のサッカーではディフェンスといってもさまざまな方法がある。パスを止める場合とドリブルに対するスライディングでは全然その方法が違うし、1対1、2対1といった状況でも防御法が変わってくる。相手の行動を予測したディフェンスに心掛けよう。

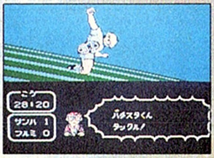
パスカット

敵がパスしようとするボールをインターセプトする。必殺パスカットもあるので利用しよう。



タックル

ドリブルしている敵に対してスライディングタックルを敢行し、ボールを奪い取る。



ブロック

シュートを止めようとするのがブロックだ。キッカーとゴールの間に入ってシュートを阻止する。



なにもしない

デイフェンスをするとガッツが減る。ガッツを減らしたくないときはなにもしないのが一番なのだ。



◆キーパー

パンチ

シュートボールをパンチで防ぐ。防ぐ確率は高いがボールはこぼれ球となって敵に渡ることもある。



キャッチ

シュートボールをキャッチする。ゴールされる危険もあるが、こぼれ球になることは少ない。



◇ゴール前

ゴール前でのしのぎあいは、直接ポイントに結びつくだけに、コマンドの選択には注意しなければならない。ゴールにつめている相手が誰で、自軍のディフェンスの能力は高いのか低いのか、それによってボールを奪うのかとりあえずクリアーするのか防御法が変わってくる。

せりあい

相手の行動を邪魔するプレイで、成功するとボールはこぼれ球となり、次に誰が取るかわからない。



クリアー

敵が持っているボールを大きく外へ蹴り出して危機状況を回避する。ボールはこぼれ球となる。



フォロー

こぼれ球や敵のトラップ、スルーボールに対応するのがフォロー。敵との直接接触はない。



とびだす

キーパー御御の1つで積極的に「とびだす」か「みがまえる」かは状況によって判断する。



◇セットプレイ

アウト・オブ・ボールになるとスローインやコーナーキックなどが与えられる。このときはセットプレイを仕掛ける絶好のチャンスなのだ。セットプレイは蹴る（スローイン）プレイヤーとそれを受けるプレイヤー、シュートするプレイヤーそれぞれのフォーメーションが重要だ。

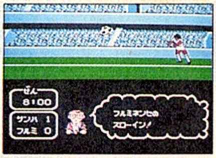
コーナーキック

キッカーとゴール前の選手のポジションが重要。必殺パスを持った人間をキッカーにしたい。



スローイン

範囲に制限があるが、場合によってはセンタリングとなるスローインをすることもできるのだ。



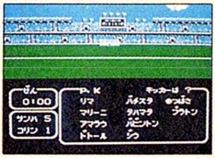
ペナルティキック

ペナルティエリア内での反則の場合PKが与えられる。蹴る方向は左スミ、正面、右スミから選択。



ペナルティキック②

両チーム同点で試合終了となった場合PK合戦となる。5人ずつによるPK戦で多いほうの勝ち。



◆パスプレイ

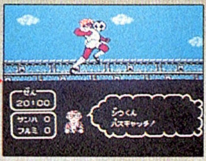
キャプテン翼２ではパスプレイも実際のプレイに近づいてきている。本物では、パスを出す場合味方の場所にボールを蹴るのではなく、味方が移動している方向めがけて蹴ることが多い。サッカーではボールを持っていない選手がどれだけ動いているかで勝負が決まるともいわれているほどなのだから。あるいは１人をスルーしてその後ろあるいは前の味方にパスすることもある。このゲームでは、こうした実際に行われているパスプレイが再現されているのだ。

エリアパス

パスをしようとする味方の前方にパスを出し、味方を走らせるとその分敵陣に早くたどりつける。

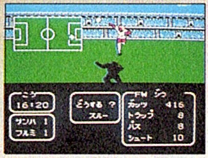


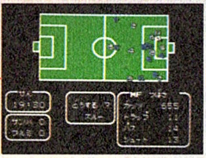


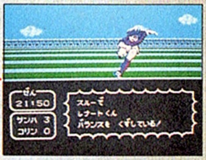


パススルー

ゴール前でパスをスルーして後ろの味方にパスをすることによって敵の体勢を崩すことができる。







アウト・オブ・ボールについて

アウト・オブ・ボールつまりサイドラインを割ったり、反則があった場合などのことだ。こうした状況をキャプテン翼２ではかなり忠実にシミュレーションしている。

コーナーキックではゴール前の選手の位置を変更してセットプレイが可能となっているし、ディフェンスでも敵有力選手をマークできるシステムになっている。キッカーはパスとシュートが可能で、必殺シュートを持っているキッカーを採用した場合や時間がないような場合は直接ゴールを狙ってシュートしてみるのもいい。またゴール前でのグラフィックもなかなか見応えがある。

しかし、ゴールキックはランダムに味方選手にパスされてしまうので、戦法を考えるのはパスをされた後ということになる。

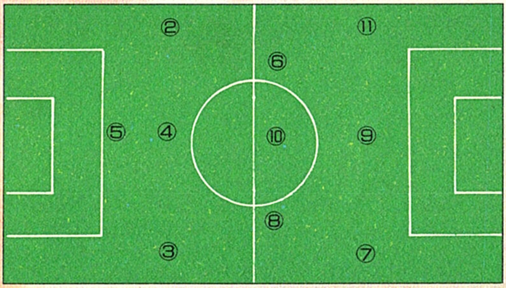
フリーキックは間接フリーキックと直接フリーキックにわかれており、前者は反則を受けた選手がキック、後者はキッカーが選択できるようになっている。この際、他の選手のポジションを変更したりシュートとパスを選択することも可能だ。またディフェンス側は壁を作ることができて、その壁の位置も移動できる。このあたりはかなりよくシミュレートされていて、戦略的サッカーの醍醐味が味わえる。

ＰＫ戦では５人で多くゴールしたほうが勝ちであるが、同点の場合は勝負がつくまでのサドンデスとなる。

1回戦 フルミネンセ

陣型	4：3：3
守備	ノーマル

初戦で対戦するのはフルミネンセFC。特に飛び抜けた能力を持つ選手はおらず、プレイスタイルにも特徴がない、ゲームシステムに馴れるのに最適のチームと呼べるだろう。ここで苦戦するようでは先が思いやられる。



		DF	MF	FW
ドリブル中	シュート	8	8	8
	パス	10	10	10
	ワンツー	13	13	13
	ドリブル	9	9	9
	ブロック	8	8	8
	タックル	8	8	8
	パスカット	8	8	8
低い浮きダマ	シュート	10	10	10
	パス	8	8	8
	トラップ	8	8	8
	スルー	11	11	11
	クリアー	9	9	9
	せりあい	9	9	9
	パスカット	8	8	8
高い浮きダマ	シュート	10	10	10
	パス	8	8	8
	トラップ	8	8	8
	スルー	11	11	11
	クリアー	9	9	9
	せりあい	9	9	9
	パスカット	8	8	8

	GK
パス	11
キャッチ	11
パンチ	12
1対1	8
とびだす	13

★必殺技

なし

ワンポイント・アドバイス

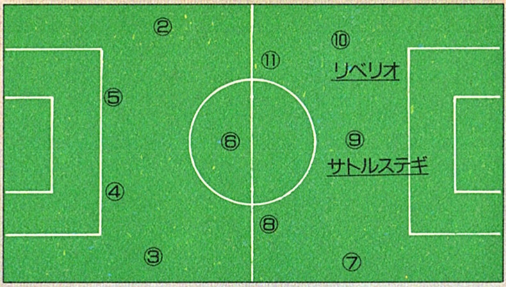
この試合での目標は、ゲームシステムに馴れることにつきる。あらゆるコマンドを試し、それがどういう効果を生むかを自分の目で確かめてほしい。

試合に勝つために特に気をつけるべきことはないが、後々の試合のため、できるだけ全員に経験を積ませ、まんべんないレベルアップを心がけたい。

ブラジルひとくちメモ…翼くんが単身渡ったブラジル。この国のことをちょっとだけ解説しよう。南米東部に位置するこの

2回線 コリンチャンス

陣型	ブラジルタイプ
守備	ノーマル



2回戦のコリンチャンスＦＣからは、固有名詞を持ったキャラクター達が敵チームに出現する。かれらは能力的に優れており、さらには必殺技を持っているので注意したい。彼等をどう押さえるかがポイントだ。

		DF	MF	FW	サトルステギ	リベリオ
ドリブル中	シュート	9	9	9	10	11
	パス	10	10	11	14	13
	ワンツー	14	14	14	19	17
	ドリブル	10	10	10	14	15
	ブロック	8	8	8	8	8
	タックル	8	8	8	8	8
	パスカット	8	8	8	8	8
低い浮きダマ	シュート	11	11	11	12	12
	パス	9	9	9	9	10
	トラップ	8	8	8	8	10
	スルー	12	12	12	12	13
	クリアー	9	9	9	9	9
	せりあい	9	9	9	9	9
	パスカット	8	8	8	8	8
高い浮きダマ	シュート	11	11	11	12	12
	パス	9	9	9	11	10
	トラップ	8	8	8	10	10
	スルー	12	12	12	14	13
	クリアー	9	9	9	9	9
	せりあい	9	9	9	9	9
	パスカット	8	8	8	8	8

	GK
パス	11
キャッチ	13
パンチ	14
1対1	8
とびだす	13

★必殺技

サトルステギ
⦿ダイナマイトヘッド

リベリオ
⦿バナナシュート

ワンポイント・アドバイス

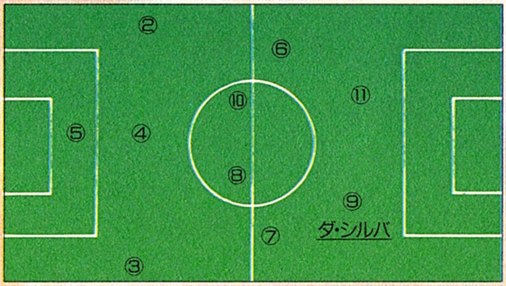
必殺技を持つキャラをフォワードに2人配する攻撃型のチームで、点の取り合いになる傾向が強い。失点を気にせずガンガン攻めよう。なお、リベリオはセットプレイからでも必殺技を放つので驚かないように。

国、人口は約1億2000万人。首都は内陸部のブラジリアだ。気候は主に熱帯だが、ゲームの舞台であるリオは温帯域だ。

3回戦 グレミオ

陣型	4：4：2
守備	カウンター

3回戦で対戦するグレミオFCは、鉄壁の守備を誇るメオンがゴールを守る守備型のチーム。接戦を覚悟して臨もう。この試合の前にちょっとしたドラマが展開するのだが、それはプレイしてみてのお楽しみ。



		DF	MF	FW	ダ・シルバ
ドリブル中	シュート	10	10	10	13
	パス	12	13	13	14
	ワンツー	16	17	17	18
	ドリブル	13	15	15	16
	ブロック	8	8	8	10
	タックル	8	8	8	10
	パスカット	8	8	8	10
低い浮きダマ	シュート	12	12	12	15
	パス	10	10	10	13
	トラップ	9	9	9	12
	スルー	12	12	12	20
	クリアー	9	9	9	12
	せりあい	10	10	10	14
	パスカット	8	8	8	11
高い浮きダマ	シュート	12	12	12	15
	パス	10	10	10	13
	トラップ	9	9	9	12
	スルー	12	12	12	20
	クリア	9	9	9	12
	せりあい	10	10	10	14
	パスカット	8	8	8	11

	メオン
パス	11
キャッチ	17
パンチ	19
1対1	37
とびだす	35

★必殺技

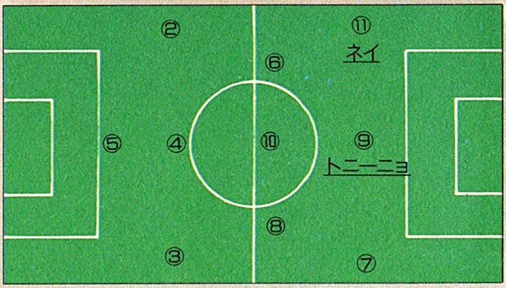
なし

ワンポイント・アドバイス

サッカーは点取りゲームだから、相手ゴールを割らない限り勝ち目はない。しかし3試合目にしては突出した能力を持つメオンから得点するのは至難。さて、どうするか？　答えは自分で発見して欲しい。また、守備型のチームとはいえ、フォワードにはスピードが売り物のダ・シルバがいる。速攻に注意しよう。

4回戦 パルメイラス

陣型	4：3：3
守備	カウンター



4回戦はパルメイラスFCとの対戦。左ウイングのネイを中心とする攻撃を得意とするチームだ。パスによる連携プレイよりも個人技に優れており、果敢にゴールを狙ってくる。弱点は守備力が弱いことだろうか。

		DF	MF	FW	トニーニョ	ネイ
ドリブル中	シュート	13	13	13	11	12
	パス	14	14	14	16	17
	ワンツー	18	19	19	21	22
	ドリブル	15	16	16	18	17
	ブロック	9	9	9	11	11
	タックル	9	9	9	12	13
	パスカット	9	9	9	10	10
低い浮きダマ	シュート	15	15	15	17	20
	パス	10	10	10	14	14
	トラップ	12	12	12	13	13
	スルー	12	12	12	21	21
	クリアー	10	10	10	13	13
	せりあい	11	11	11	14	14
	パスカット	9	9	9	12	12
高い浮きダマ	シュート	15	15	15	17	20
	パス	10	10	10	14	14
	トラップ	12	12	12	13	12
	スルー	12	12	12	21	21
	クリアー	10	10	10	13	13
	せりあい	11	11	11	14	14
	パスカット	9	9	9	12	12

	GK
パス	11
キャッチ	17
パンチ	18
1対1	11
とびだす	14

★必殺技

トニーニョ
⊙ドライブシュート

ネイ
⊙ブースターシュート
⊙消えるフェイント

ワンポイント・アドバイス

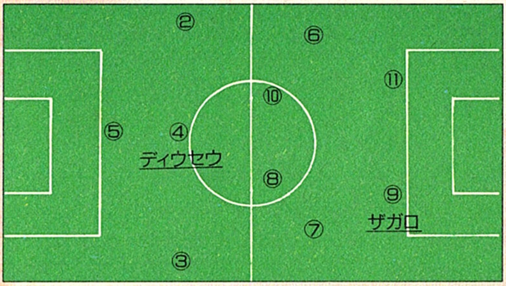
4試合目の相手としてはキーパーの能力が低いので、翼以外の選手にもガンガンシュートを打たせて得点を稼ぎたい。相手はドリブル主体で攻めてくるので、守備の際にはその点を考慮して臨むのが効果的だ。

ている。雑多な人種が入り混じっていることが特徴で、国民の30%が白人と黒人の混血（ムラート）である。

準決勝　サントス

陣型	4：4：2
守備	カウンター

準決勝の相手は名門サントスＦＣ。キーパーに弱点を持つが、空中戦に強さを見せるディウセウがディフェンダーにいるので、得点はたやすくない。攻撃面はサガロが中心だが、ディウセウが加わることもある。



		DF	MF	FW	サガロ	ディウセウ
ドリブル中	シュート	13	13	13	12	12
	パス	15	15	15	17	17
	ワンツー	20	20	20	22	22
	ドリブル	17	17	17	13	13
	ブロック	10	10	10	10	8
	タックル	11	11	11	13	8
	パスカット	9	9	9	10	11
低い浮きダマ	シュート	15	15	15	18	18
	パス	11	11	11	14	14
	トラップ	13	13	13	13	13
	スルー	12	12	12	20	20
	クリアー	10	10	10	12	13
	せりあい	11	11	11	13	14
	パスカット	9	9	9	11	11
高い浮きダマ	シュート	15	15	15	18	15
	パス	11	11	11	14	14
	トラップ	13	13	13	13	13
	スルー	12	12	12	20	20
	クリアー	10	10	10	12	14
	せりあい	11	11	11	13	14
	パスカット	9	9	9	11	11

	GK
パス	11
キャッチ	15
パンチ	18
１対１	11
とびだす	14

★必殺技

サガロ

- ダブルイール
- 強引なドリブル

ディウセウ

- キャノンヘッド
- パワーブロック
- パワータックル

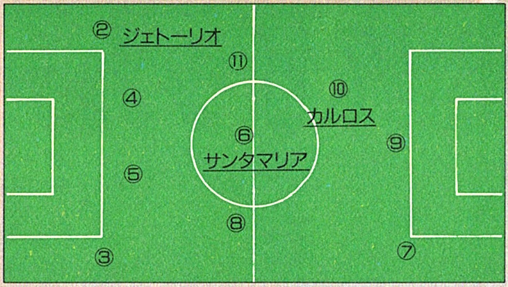
ワンポイント・アドバイス

ゴールを狙うときは、ディウセウを避けるように攻めるのが基本。まともに攻めるのは大変だ。常に彼の位置を確認しながら試合を進めるようにしたい。

ブラジルひとくちメモ…キャプテン翼Ⅱで最初の舞台になるリオデジャネイロはサンバの生まれた街として有名。このサン

決勝戦 フラメンゴ

陣型	ブラジルタイプ
守備	ノーマル



リオカップ最終戦は、優勝候補筆頭のフラメンゴＦＣが相手。“天才”カルロスはもちろん、サンタマリアとジェトーリオもそれぞれ必殺シュートを有する強敵だ。このチーム相手に無失点で切り抜けるのは至難だろう。

		DF	MF	FW	カルロス	サンタマリア	ジェトーリオ
ドリブル中	シュート	14	14	14	14	14	14
	パス	15	15	15	23	18	18
	ワンツー	20	20	20	30	24	24
	ドリブル	17	17	17	17	18	17
	ブロック	11	11	11	11	11	13
	タックル	11	11	11	16	14	14
	パスカット	10	10	10	11	11	14
低い浮きダマ	シュート	15	15	15	23	22	20
	パス	11	11	11	14	14	14
	トラップ	13	13	13	14	14	14
	スルー	14	18	18	24	24	24
	クリアー	10	10	10	13	13	13
	せりあい	11	11	11	14	14	14
	パスカット	9	9	9	12	12	12
高い浮きダマ	シュート	15	15	15	24	22	20
	パス	11	11	11	14	14	14
	トラップ	13	13	13	14	14	14
	スルー	14	18	18	24	24	24
	クリアー	10	10	10	13	13	13
	せりあい	11	11	11	14	14	14
	パスカット	9	9	9	12	12	12

	GK
パス	11
キャッチ	17
パンチ	20
1対1	12
とびだす	15

★必殺技

カルロス
- ⦿ミラージュシュート
- ⦿分身ドリブル
- ⦿オーバーヘッド

サンタマリア
- ⦿バナナシュート

ジェトーリオ
- ⦿ドライブシュート

ワンポイント・アドバイス

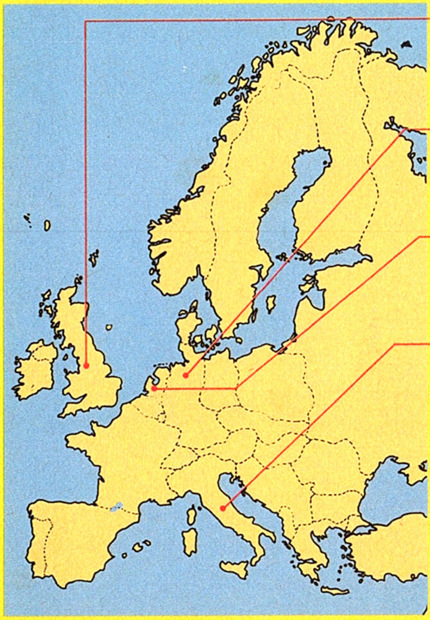
守備力に若干の不安があるものの、それを気にしない破壊力を持つ。失点よりも得点が上回るよう頑張るしか勝ち目はないのでは？

バはスラム街で発生した音楽だが、20世紀に入ってリオのカーニバルの公式音楽として認定され、有名になった

キャプテン翼Ⅱ発売＋ワールドカップ開幕記念特集

●キャプ翼でサッカーに目覚めた君に贈る…

世界サッカー事情'90



●イギリス・気品と伝統の組織プレイ

伝統だけに裏付けられた実力は、年々落ちる一方。予選突破がいいとこか？

●西ドイツ・燃えるゲルマン魂

前回の優勝国。飛び抜けた選手は見当たらないが、地道に勝ち上がるかも。

●オランダ・実力派集団

脂の乗り切ったスター選手を数多く抱えている。優勝候補に挙げる人も多い。

●イタリア・開催国の意地にかける

熱狂的な国民の応援がパワーとなるかプレッシャーとなるか。ここが分かれ目。



●コロンビア・無名の大穴

注目度も低く、前評判もあまりよくない。世界相手にどこまでやれるのか？

●ブラジル・翼も憧れたサッカー王国

毎回優勝候補に挙げられるが、なぜか勝てない。今年も前評判はいいけれど…。

●ウルグアイ・今回の注目株

攻撃陣も守備陣も、例を見ない充実ぶり。大暴れしてくれる気配は十分だ

●アルゼンチン・4年前の栄光再び!?

平均年齢が高く、今回はあまり期待できない。マラドーナだけが頼り。